

## 事前評価個表

整理番号	12
------	----

地域（地区）名	わかさ 若狭	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	福井県	対象市町村	つるが 敦賀市ほか5市町
事業実施期間	R5年度～R9年度（5年間）	事業実施主体	県、市町、森林組合、森林所有者等

事業の概要・目的	<p>本地区は、福井県の南部のいわゆる<sup>れいなん</sup>嶺南地域に位置し、敦賀市をはじめ2市4町から構成されている。本地区は、北部は若狭湾、東部は<sup>えちぜん</sup>越前森林計画区、南部は滋賀県、西部は京都府に面している。</p> <p>本地区の森林面積は8.7万haで総土地面積の79%を占めている。このうち民有林面積は8.0万ha（森林面積の92%）であり、スギを主とした人工林は3.0万ha（民有林面積の38%）となっている。</p> <p>また、本地区の林道延長は480km、林道密度は6.0m/haとなっており、このほかに林道の支派線として森林作業道も整備されている。</p> <p>本地区の人工林の現況は、間伐の対象となる3～12齢級の森林が2.1万haと71%を占めているが、小規模零細な所有構造や不明確な森林境界等の要因により、間伐等の森林施業が進まず、整備の行き届いていない森林が存在している。このため、森林の有する水源<sup>かん</sup>涵養機能や土壌保全機能等の公益的機能が十分に発揮されなくなるおそれがある。</p> <p>本地区の森林の有する水源涵養機能や土壌保全機能、地球環境保全機能等といった公益的機能の持続的な発揮と森林資源を循環利用していくため、路網整備、森林施業の集約化・機械化等を通じた効率的な間伐や主伐後の確実な更新等を図る必要がある。あわせて、厳しい経営環境下にある林業経営体が安定的に収益を確保できるようにするため、県産材自給率の向上を図り、川上から川中・川下までの相互利益を拡大していくことも重要となっている。</p> <p>本事業では、森林の有する多面的機能の維持増進を図るため、間伐や再造林等の森林整備を施業の集約化等により効率的に実施する。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：2,540ha</p> <p style="padding-left: 40px;">人工造林、下刈り、雪起こし、枝打ち、除伐、保育間伐、間伐等</p> <p>総事業費：3,339,322千円（税抜き3,035,747千円）</p>
費用便益分析結果	<p><math>B/C=2.31</math></p> <p>（総便益（B）=12,714,906千円、総費用（C）=5,501,961千円）</p>

評価結果	<p>必要性：整備の行き届いていない森林が存在しており、森林の有する水源涵養機能や土壌保全機能等といった公益的機能の持続的な発揮を図るためには、間伐や再造林等森林の整備及び保全を進める必要があり、事業の必要性が認められる。</p> <p>効率性：費用便益分析結果から十分な効率性が認められるとともに、施業の集約化による効果的かつ効率的な森林整備を推進することとしており、事業の効率性が認められる。</p> <p>有効性：森林整備によって、森林の有する水源涵養機能や土壌保全機能等といった公益的機能及び木材等生産機能の維持増進が図られるため、事業の有効性が認められる。</p>
------	---

## 便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業

都道府県名：福井県

地域(地区)名：<sup>わかさ</sup>若狭

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	3,190,238	
	流域貯水便益	940,049	
	水質浄化便益	3,427,215	
山地保全便益	土砂流出防止便益	2,090,876	
	土砂崩壊防止便益	16,077	
環境保全便益	炭素固定便益	2,104,097	
木材生産等便益	木材生産確保・増進便益	946,354	
総 便 益 (B)		12,714,906	
総 費 用 (C)		5,501,961	
費用便益比	$B \div C = \frac{12,714,906}{5,501,961} = 2.31$		

